

## 平成 30 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「実践ケア賞」

名古屋市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」

【設立年月日】2013年10月

### 【授賞理由】

社会との接点を閉ざそうとする認知症のある人に手を差し伸べ共に集う場をつくり共通の課題に力を合わせて取り組む活動をされてきました。支えられるだけの存在ではなく支え合い共にあゆみを進めることで認知症のある人の未来を照らそうとする活動は非常に重要な意味をもちます。

### 【団体概要】

2013年10月	名古屋市若年性認知症相談支援事業の一環として開設
2015年9月	当事者メンバーが認知症カフェ「カフェといぶーどる」を開設
2018年1月	家族支援の場「家族のつどい」の立ち上げ

### 【事業活動】

毎月第4土曜日にあゆみの会定例会を開催。情報交換、仲間づくりの場となっている。当事者メンバーが開設した認知症カフェ「カフェといぶーどる」、家族支援の場「家族のつどい」の開催。自主的なサークル活動やボランティア活動、本人ミーティング、メンバー個々の啓発活動（講演会等）などを会全体で支え合いながら行っている。

### 【業績等】

当事者同士の出会いは、「ひとりじゃない」という思いにつながり、相互のエンパワメントを促した。それまで医療以外の社会資源につながっていなかった人が、自ら地域の資源を活用しながら、サポートネットワークを構築し、地域にソフトランディングしていくことができていく。また、「～したい」という思いの実現は、当事者が自信を取り戻すきっかけとなり、自主的なサークル活動、当事者メンバーによる認知症カフェ開設といった当事者主体のアクションへと活動が展開していった。当事者メンバーの中から「仲間のために」と講演会等の啓発活動を開始する人も複数名登場した。新聞・テレビ等メディアでの発信、大学生とコラボした啓発冊子制作、名古屋市初の当事者キャラバン・メイト、認知症専門部会の当事者委員就任、当事者が当事者の相談に対応する相談窓口の開設、市内初の認知症安心宣言など、社会的アクションも広がっている。今後も当事者メンバーの「～したい」という思いの実現を軸に活動を展開していく。当事者メンバーの生きがい支援・地域活動支援、本人ミーティングの開催などを積極的に行い、啓発や当事者の声を市や区の認知症施策に反映していく活動も展開していく。一方で、メンバーの症状の進行の中で、本人と家族のニーズの違いが存在するため、「家族のつどい」を立ち上げ、家族支援の場をつくるとともに、介護家族の地域活動支援やその声の施策への反映も展開していく。